

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年9月26日(2024.9.26)

【公開番号】特開2023-105400(P2023-105400A)
 【公開日】令和5年7月31日(2023.7.31)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-142
 【出願番号】特願2022-6188(P2022-6188)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 5/04(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 5/04 6 5 1

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年9月17日(2024.9.17)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【請求項1】

ストップスイッチの第1停止操作を契機として演出が分岐するパターンと、ストップスイッチの第2停止操作を契機として演出が分岐するパターンと、ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンとがあり、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数は、ストップスイッチの第1停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数は、ストップスイッチの第2停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数(「カット数」とは、切れ目なしに連続する動画像を1カットとしたときの1演出でのカット数を指す。以下同じ。)の平均値は、ストップスイッチの第1停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値は、ストップスイッチの第2停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値よりも多い
 ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

40

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明(第13実施形態)は、
ストップスイッチの第1停止操作を契機として演出が分岐するパターンと、ストップスイッチの第2停止操作を契機として演出が分岐するパターンと、ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンとがあり(たとえば図167中、演出01)
 、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数(たとえば

50

演出01中、イベント「0102」、「0104」、「0105」、「0106」、「0107」の5つ)は、ストップスイッチの第1停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数(たとえば演出01中、イベント「0102」、「0103」、「0104」、「0106」の4つ)よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数は、ストップスイッチの第2停止操作を契機として演出が分岐するパターンの総数(たとえば演出01中、イベント「0102」の1つ)よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数(「カット数」とは、切れ目なしに連続する動画像を1カットとしたときの1演出でのカット数を指す。以下同じ。)の平均値(たとえば図167の演出03中、イベント「0307」のカット数「2」)は、ストップスイッチの第1停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値(演出03中、イベント「0308」のカット数「1」)よりも多く、
ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値は、ストップスイッチの第2停止操作を契機として出力される各演出を構成するカット数の平均値よりも多い
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50